

平成27年度の主な取組み【環濠都市区域】

(1) 歴史的風致を形成している建造物の整備と管理(保存・修理事業など)

基本方針①: 古墳時代をはじめ、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用

●歴史的建造物保存修理事業:

・山口家住宅や清学院とともに、堺環濠都市を代表する歴史的建造物である「鉄砲鍛冶屋敷」の保存に向けた整備方針等について所有者と継続的に協議(売却・補償交渉等)し、所蔵する歴史資料について調査を行う。

(3) 歴史的風致を形成する建造物の周辺環境の向上(道路整備・修景など)

基本方針③: 古墳や歴史的まちなみを活かした魅力ある景観の創出

●まちなみ再生事業: ①町家等の修景への支援

②協議会活動への支援

・山口家住宅をはじめとする歴史的建造物を核とし、堺環濠都市北部地区において歴史的なまちなみ形成を図るため、平成27年度は協議会の活動を支援し、合わせて歴史的なまちなみに調和した修景に対する補助を実施。

●ザビエル公園再整備事業

・ザビエル公園について、平成25年度の埋蔵文化財調査により旧紀州街道及び中世の海岸線の位置が新たに判明。これら遺構を活用し、歴史を感じることができる公園の再整備に向け、平成26年度に基本計画及び設計を実施。平成27年度、28年度の2カ年で再整備。

●宿院町公園再整備事業

・神輿渡御祭が行われる宿院頓宮に隣接し、頓宮及び飯匙堀と一体となって、祭りの舞台の一翼を担っていることから、良好な景観の創出に資する公園施設の改修・再整備に向けて、H26年度に現況調査・基本計画を作成。平成27年度に基本設計を実施し、平成28年度に整備工事を予定。

●阪堺線停留場美装化事業

・阪堺線の停留場(宿院)について、平成26年度に工事認可を取得。平成27年度に改修工事を予定。

●紀州街道沿道の景観づくり

・平成27年度から28年度にかけては阪堺線沿線の植栽帯について、周辺と調和するよう改善を図り、紀州街道沿道の良好な景観づくりに配慮した整備を進める。

(4) その他の歴史的風致の維持向上に寄与する事項

基本方針④: 歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有

●自転車通行環境の整備

・錦南宗寺線について、歩行者・自転車利用者の安全を確保し、回遊性の向上を図るため、自転車通行環境の整備を実施。国費の内示に応じて、工事規模の調整要。

●文化観光拠点整備事業

・平成27年3月20日(金) 施設開設(事業完了)を予定。

集客目標:年間15万人～20万人。また、回遊性・利便性向上に向け、平成27年度も引き続き観光案内板の多言語化を実施。(環濠都市区域内における案内板の改善事業)。

●堺市地域文化遺産活用活性化事業

・記録作成事業のうち神輿渡御祭記録作成・調査研究事業は環濠都市区域に古くから伝わる伝統的な活動である「神輿渡御祭」について、その歴史的経緯や現在の活動の実態の記録を作成し今後の保存伝承に繋げる。関西大学と連携し平成26年度は神輿渡御をはじめとする住吉祭の記録、写真撮影を実施し概要報告を作成。平成27年度は資料収集。

●堺市地場産業振興事業補助事業、堺市伝統産業後継者育成事業補助事業、堺市ものづくりマイスター制度、学校教育の場での茶の湯体験 継続的な取組み

平成27年度の主な取組み【百舌鳥古墳群及び周辺区域】

(1) 歴史的風致を形成している建造物の整備と管理(保存・修理事業など)

基本方針①: 古墳時代をはじめ、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用

●百舌鳥古墳群整備事業

・平成25年度の史跡指定を受け、平成26年度に史跡の保存管理計画を策定。平成27年度は、保存管理計画での整備方針に基づき、寺山南山古墳の整備にむけた準備に着手。さらに、史跡収塚古墳周辺の駅前仮整備に先立つ発掘調査を実施する。また、重要文化財高林家住宅についても保存修理工事に向けて、国、大阪府、所有者と継続的に協議。(重要文化財高林家住宅保存修理事業)。

(2) 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援

基本方針②: 「ものはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興

●市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み、並びに百舌鳥古墳群に関する情報発信

・上記の環境整備と並行して、世界遺産登録に向けた啓発を継続的に実施。平成27年度も引き続き情報発信に努める。インターネットによる情報発信(広報番組「堺シテイレポ」、堺動画チャンネル)、シンポジウムや講演会の実施(第5回国際シンポジウム、国内推薦決定記念イベント、パンフレットやポスター)など。

(3) 歴史的風致を形成する建造物の周辺環境の向上(道路整備・修景など)

基本方針③: 古墳や歴史的まちなみを活かした魅力ある景観の創出

●視点場の整備に関する調査検討

・平成26年度、視点場の設定に際し百舌鳥古墳群の周遊路の設定を行い、視点場整備の調査検討を実施。合わせて履中天皇陵古墳後円部北側にある候補地については、周辺の公園整備のコンセプトとの整合性を図りながら計画を作成。平成27年度は群全体の視点場の候補ごとに今後の用地買収、整備計画案を策定し、履中天皇陵古墳後円部北側の視点場整備について設計等を進める。さらに平成28年度以降、大仙公園拡張整備事業の上野芝地区整備の状況に合わせて、履中天皇陵古墳後円部北側の視点場整備を実施。

●百舌鳥古墳群水質改善事業

・平成26年度は百舌鳥古墳群の水質改善に向け、目標とする水質基準を検討するとともに、実施可能な手法を検討。平成27年度は設定した水質基準の達成に向けて、仁徳天皇陵から事業実施に向けた協議・調整を行う。また、その他の古墳については順次関係機関との協議・調整を行う。

(4) その他の歴史的風致の維持向上に寄与する事項

基本方針④: 歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有

●百舌鳥古墳群周辺案内板の整備

・案内板の整備に関し、平成27年度は史跡の追加指定のうち説明板が設置されていないものなどを重点的に整備するほか、周遊路の案内板について三国ヶ丘周辺を先行整備し、総合案内板を設置するなど来訪者の利便性を向上させる。

●百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備

・平成24年度に百舌鳥古墳群ガイダンス施設用地として大阪府立大学旧大仙キャンパス跡地を取得。以降、効果的なガイダンス施設のあり方や土地の有効活用という点で検討を重ね、平成26年度はガイダンス施設の基本計画を策定し、平成27年度に基本設計に着手予定。～平成28年度 基本設計、実施設計。平成29年度 建設工事着手。平成31年度 竣工、開設。

●観光ボランティアの育成・支援

・堺観光ホスピタリティ・ガイド養成講座(ボランティアガイド養成講座:年1回(5日間)、入会基礎研修:年2回(前期10日間、後期6日間))、基本研修(公開講演会:年1回、全体研修:年4回、堺市博物館ガイド養成:年1回)ほか。

●史跡・重要文化財等公開事業

春季・秋季文化財特別公開事業等を通じて、非公開の史跡や重要文化財の公開を実施予定。